

## 式 辞

冬が終わりを告げ、春の到来が感じられる一陽来復の今日この佳き日に、同窓会、PTA、校友会を代表するご来賓の皆様にご臨席を賜りまして、卒業生の保護者やご家族の皆様とともに、「令和五年度 岐阜県立華陽フロンティア高等学校 卒業証書授与式」を挙行できますことを、教職員一同大変うれしく思っております。

本日、卒業を迎えられました 定時制九六名、通信制一二三名、合わせて一九名の皆さん。卒業おめでとうございます。本校の所定の教育課程を修了し、めでたく卒業の日を迎えられましたことは、皆さんがたゆまぬ努力を積み重ねてきた結果であります。その努力に対し、心から敬意を表します。

また、ご家族の皆様、今日までお子様の成長を見守り、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。ありがとうございます。

今年度に入り、新型コロナウイルスは五類に移行したことで、部活動の大会でも、四年ぶりにマスクを外しての声出し応援も可能になるなど、コロナ前の学校の日常を至るところで取り戻すことができたように感じます。とは言うものの、致し方ないこととはいえ、コロナ前の日常と比べれば、皆さんは、日常の様々な活動が制限される中で、高校生活を過ごしてきました。加えて、昨年度の夏からは、本校の本館校舎改築工事が始まり、仮設校舎での学習に切り替わって、グラウンドが自由に使用できなくなるなど、ここでも、皆さんにいろいろな制限を加えている状況を前にして、私は、心苦しい気持ちでいっぱいでした。

しかし、仮設校舎に移って一年半、皆さんは、この仮設校舎を丁寧に、綺麗に使ってくれました。そして、同じ時代に、同じ学び舎で、同じ状況の中で、高校時代を過ごした卒業生の皆さんは、たくましく立派に成長してくれました。

皆さん、自分が入学した時のことを思い出してみてください。

一人一人が抱える課題や悩みは違いますが、皆さんは、高校生になりたいという強い希望をもって、本校を選んでくれました。希望や期待はもちろんですが、一方で、自分の将来に、大きな不安も感じていたのではないのでしょうか。

卒業にいたるまでの三年、四年、いや、それ以上の年月は、平坦なものだったとは思えません。勉強に苦労したこと。仕事やアルバイトで疲れて、登校やレポートの作成が億劫になったこと。友達との関係に悩んだこと。保護者の方と意見が合わなかったこと。病氣と闘いながら、不安な気持ちを抱えていたことなど、皆さんが経験した困難は、それぞれ、小さなものではなく、つらい場面もたくさんあったと思いますが、それを乗り越えたり、気持ちを切り替えたりした日々の積み重ねが、今の皆さんの成長に確実につながっているはずですよ。



卒業生の皆さん、十年後、二十年後、三十年後の未来を想像してみてください。昭和、平成、令和と、身近な景色も人の人生観も、大きく移り変わりました。人々の価値観は多様化し、皆が一緒になって素朴に信じられるような幸せの形は、もう見つけることはできないのかもしれないかもしれません。人類規模の課題が山積する中、社会を見渡せば、情報技術の進展はあまりにも目覚ましく、かつて空想したことが現実になり、それを超えようとしています。そしてこれからは今以上に、人工知能やロボットが社会に溶け込み、世の中がもっともっと大きく変化すると言われています。

大事なのは、変化を恐れず、変化を楽しむ力ですが、人には好き・嫌いや得意・不得意があります。変化を楽しむためには、できない自分を追い詰めず、できる誰かに、余裕のある誰かに、「助けてほしい」と声を掛けることです。

世の中はお互い様です。最初は勇気がいるかもしれませんが、人は昔から、自分のできる範囲の中で、助け合って生きてきました。

皆さんは、十分に分かっていると私は思いますが、私たちの今日があるのは、友だち、先輩、お父さんお母さん、家族の方、時には先生など、周囲にいた人たちの、励ましや助けがあったからです。こうした人との出会いに感謝し、自分のできる範囲のことで、周りの人を笑顔にしてあげてください。どこかで誰かに、優しい言葉をかけてあげてください。そして、それができる自分を褒めてあげてください。今の皆さんは、どこで自分を主張し、どこで我慢するか、何が個性で、何が我が儘なのか、ということについても、理解できていると思います。

皆さんは今、慣れ親しんだ高校生活に別れを告げ、それぞれの新しい世界へ踏み出そうとしています。春が来たとはいえ、外の風は、時折思いもよらない冷たさを感じさせることもあるでしょう。しかし、それにひるんではいけません。皆さんは、高校生活で得た経験と自信を糧にして、こうありたいと願って挑戦する気持ち、即ち、フロンティアの心意気をもって、それぞれの道を進んで行ってください。

今、私には、皆さんの未来が大変輝いて見えます。人生は一生勉強です。変化を楽しみながら、焦らず、マイペースでいきましょう。私たちはいつまでも皆さんを応援しています。皆さんの笑顔こそが本校の存在意義であり、それはこれまでも、そしてこれからも変わることはありません。

最後に皆さん、どうかくれぐれも、健康には十分ご留意ください。皆さんの今後のご活躍とご多幸を祈念して、式辞といたします。

令和六年三月一日

岐阜県立華陽フロンティア高等学校

校長 鵜飼 陽一郎